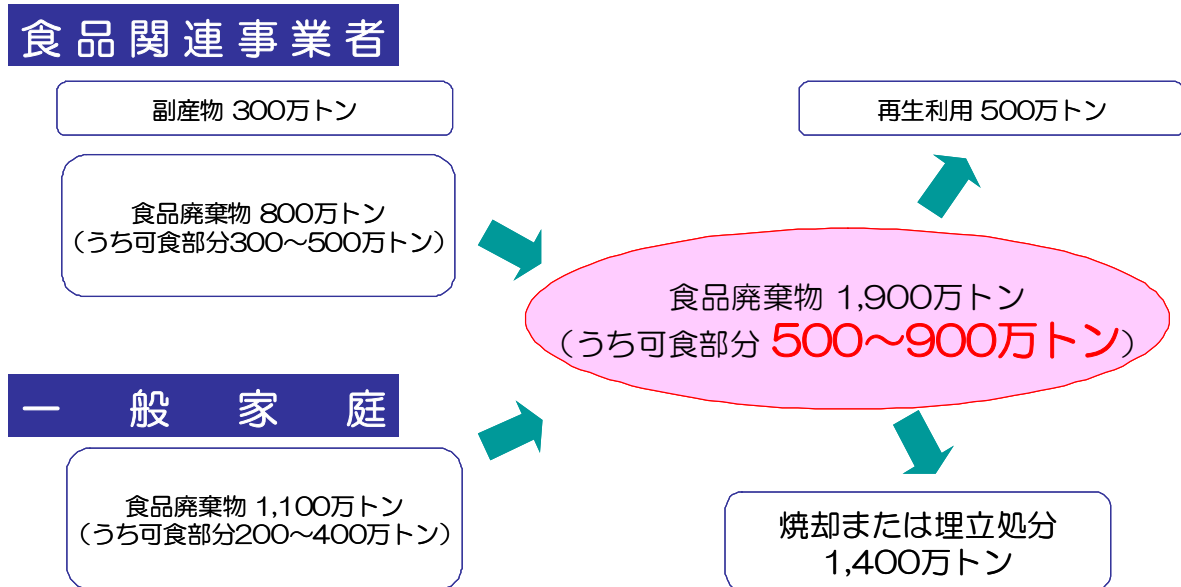


食品廃棄の現状について

更新：2010年9月
(統計データ更新)

- 1年間に発生している食品廃棄物は1,900万トン、そのうち食べられるのに捨てられている部分(食品ロス)は、500~900万トンとされています。

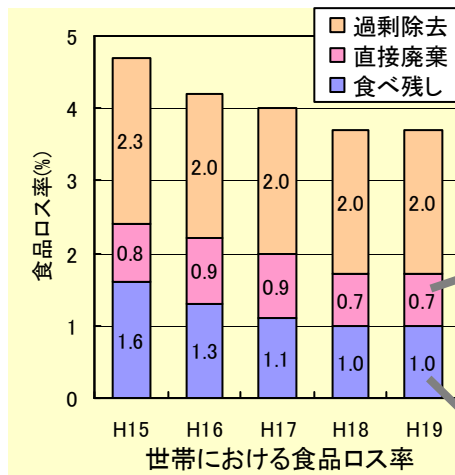


事業者における食品廃棄物発生状況

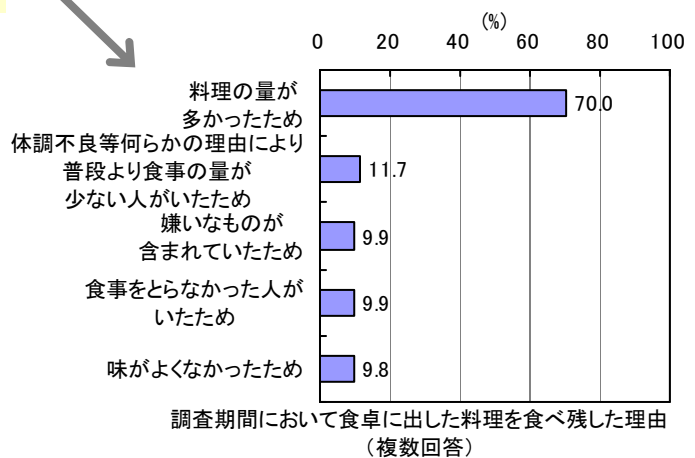
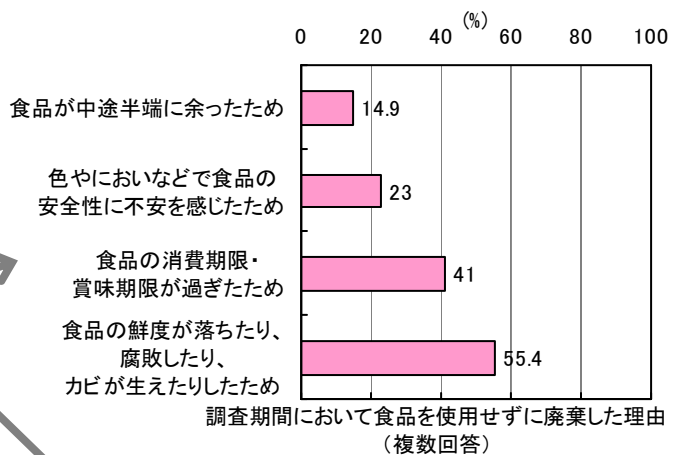
- 事業者による食品ロスは、年間 300~500 万トンとされています。
- 食品メーカー、小売店からの食品ロスには次のようなものがあります。
 - ✓ 新商品販売や規格変更に合わせて店頭から撤去された食品
 - ✓ 期限切れなどで販売できなくなった在庫
 - ✓ 印刷ミスなどの規格外品 など
- 飲食店からの食品ロスには次のようなものがあります。
 - ✓ お客が食べ残した料理
 - ✓ お客に提供できなかった仕込済みの食材 など

家庭における食品廃棄物発生状況

- ・ 家庭（世帯）における食品ロスは、200～400万トンとされています。
- ・ その内訳は、過剰除去、直接廃棄、食べ残しに分類されています。
 - 過剰除去… 大根の皮の厚むき、食肉の可食部分と判断される脂肪の除去等。
 - 直接廃棄… 賞味期限切れ等で、食事において料理・食品として提供されずに廃棄したもの。
 - 食べ残し… 食事において、料理・食品として提供されたもののうち、食べ残して廃棄したもの。



※家庭における生ごみの減少については、外食・中食を含む食の外部化率の高まりが影響していると推測されています。



参考資料：「食品ロスの削減に向けて」（農林水産省、2009年）
 「平成19年度食品ロス統計調査（世帯調査）結果の概要」
 （農林水産省大臣官房統計部、2008年）